

2011-12年度 RIテーマ
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



RI会長
カルヤン・バネルジー



第2720地区ガバナー
本田 光 曠



宇佐ロータリークラブ会長
末 宗 為 十

週報宇佐



陵王面



孔雀文馨

- 例会日 木曜日 P M 12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19
トキハインダストリー長洲店 2F
TEL (0978) 38-1112

会 長 末 宗 為 十
幹 事 石 部 幸 二
編 集 辛 島 光 司

3月は識字率向上月間

本日のプログラム (3月15日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 地区大会報告
6. 出席報告

3月の行事予定

- 1日 内部卓話 幡手一義会員
「クラブ研修リーダー育成セミナー報告」
- 8日 外部卓話 妙満寺住職 長岡義淳氏
- 15日 内部卓話 地区大会報告
- 22日 内部卓話 是永潤一会員
- 29日 内部卓話 石部幸二会員 「PETS報告」

第2196回例会 平成24年 3月 8日 の記録

- ♪ 点 鐘
- ♪ ソ ン グ 我等の生業
- ♪ ゲ ス ト 長岡義淳氏 (妙満寺 住職)
- ♪ ビジター なし

会長の時間 末宗為十会長

こんにちは。昨日(3/7)の大分合同新聞の花粉情報を読みますと、県下全域でスギ花粉が非常に多くなっています。花粉症の方は十分気をつけて下さい。

本日の外部卓話は、妙満寺 住職 長岡義淳様です。講話よろしくお願ひします。

さて、来週火曜日(3/13)午後1時より長洲中学校において「先輩に学ぶ」が行われま

す。私が宇佐ロータリークラブに入会した当初は職業奉仕委員会主催で、その翌年からは新世代委員会主催で行われ、現在に至っています。仕事が忙しい中、辛島会員・斉藤会員・川端会員には「先輩に学ぶ」の講師を快く引き受けて頂き大変ありがとうございました。当日はよろしくお願ひします。会員の皆様も、時間の都合が許せば多数の出席をお願

USA-OITA

第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内
TEL. FAX: 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

いします。尚、2001～2002年度の河村会長時、長洲中学校に紅梅の樹木贈呈を行いました。今年の紅梅はどの様な花をつけているのか楽しみです。

最後に、国際ロータリー第2720地区 地区大会が3月9日(金)、10日(土)に開催されます。年度末の大変忙しい時期だと思いますが、出席される会員の皆様よろしくお願ひします。

(いつもお願いばかりですみません。)

幹 事 報 告	石部幸二幹事
---------	--------

1. 来信

- 1)ガバナー事務所より「国際大会参加についてのお尋ね」；回覧
- 2)小野ガバナー補佐より「地区大会後のクラブ間交流懇談会について」；参加者へ配布
- 3)盛岡西北RCより「ソーラー街頭設置支援への協力依頼」；回覧

2. 例会変更

大分1985RC、湯布院RC（詳細は事務局まで）

3. 週報受理 なし

4. 理事会報告 なし

5. お知らせ

- 1)明日から(3/9・10)地区大会に参加してまいります。

6. 欠席連絡

住本憲彦会員、長浦善徳会員、米澤哲也会員
和田久継会員

7. 本日の当番

西中孝生会員、幡手一義会員

委 員 会 報 告

◎新世代委員会 藤本博和委員長

毎年恒例となりました『先輩に学ぶ』が長洲中学校の体育館で、13日(火)13時25分より開催されますので、多くのご参加をお待ちしております。

スマイルカード	是永潤一委員長
---------	---------

(お祝い)

砂山正則会員：今月末で古稀になります。本日まで生きながらえてこれたことに感謝し、毎日を大切に生きて行こうと思っています。本日はありがとうございます。

新開洋一会員：3月15日で満63才になります。やっと人生半ばかなと思っています。先はまだまだ長いですね。



(ニコニコ)

末宗為十会長：①妙満寺住職長岡義淳様、講話よろしくお願ひします。辛島・斉藤・川端会員、長洲中学校での講師よろしく。3月9日・10日地区大会出席の皆様よろしくお願ひします。河村・藤林会員先日はお世話になりました。

石部幸二幹事：長岡様ようこそ宇佐RCへ。本日はよろしくお願ひします。

廣瀬辰彦会員：長岡さん卓話よろしくお願ひ致します。

藤本博和会員：長洲中学校「先輩に学ぶ」(3月13日)講師の辛島・川端・斉藤会員よろしくお願ひします。会員の方応援よろしく。

本庄伸子会員：今日の卓話の楽しみにして来ました。よろしくお願ひします。

是永潤一会員：妙満寺の長岡様宇佐RCへようこそ。本日は卓話を楽しみにしております。

河村正一会員：先日末宗会長、藤本会員とゴルフをしました。3位の賞品をいただきました。

藤林鋭司会員：先日末宗会長、河村会員に大変お世話になりました。

新開洋一会員：早退します。

☺ニコニコ累計 476,000円

『お釈迦さまの譬え』を通して

妙満寺 住職 長岡義淳氏



本日は、よろしくお願ひします。

まずもって、宇佐ロータリークラブさんの社会奉仕活動に対して、敬意を表したいと思ひます。20年ほど前に、当クラブで卓話させていただいてあります。顔なじみの方や先ほどのスマイルカードでの「がんばっちゃくれ。」や「楽しみにしてるよ。」とのエールを頂いて、大変ありがたいことです、が同時に少しずつ緊張が増してきました。

冒頭に少しだけ、自己紹介をさせていただきます。

私は今年の6月で還暦になります。中津市の隣町、吉富町の川そばのお寺で産まれました。高校を出まして、京都の大学に行きました。卒業後、本山の西本願寺の事務員として出ていまして、その間にご縁がありまして、私の祖父の里であります妙満寺に子どもがいなくて「じいちゃんが住職をしたんやけん、まんご（孫）を帰しちゃくれ。」てなもんで、入り婿に入りまして、こちらで結婚もし30年になります。

それでは、お渡ししたレジメに従い、お話ししたいと思います。

◆四門出遊

お釈迦様はインドのサカ族の王子として出生され、何不自由なく結婚もし子供も授かり生活されておりました。ある時、世間の人々の生活を見てみたいと思ひ、城内の東西南北にあった4つの門から一日ずつ外出しました。

初日、門から街へ出てみると、ある老人に会いました。私たちですと「どこのじいちゃん、ばあちゃんやろかあ」とくらいに思うのでしょうか、そこでお釈迦様が感じたのは「私は今、若いけれども、いずれ年をとっていく定めにあるなあ」と感じた、と。

翌日、違う門から出ると、病に苦しんでいる人を見た。私たちですと「どこが悪いんやろか、どこか痛いんやろか」と思うのでしょうか、お釈迦様は「私は今、若くて元気だけれど、いずれ年をとると病に苦しむ人生なんだろうなあ」と感じた、と。

3日目もまた違う門から出ると、お葬式の列に出くわしました。そこでお釈迦様は「私は今、若く元気であるけれども、いずれ年をとり、病にかかり、そして死を迎えるんだなあ」と感じた、と。

さらに4日目に街へ出ると、修行されているお坊さんの姿を見て「私も出家して、心の悟りを求めていこう」と感じた、と。老・病・死という『年をとり、病をわずらい、死を迎える』という3つは避けられない人生だから、それらを乗り越える為に学んで生きようと決心され、出家しました。

これは『四門出遊』という有名な話であります。そこでお釈迦様は出家をし、修行をされ、悟りをひらき、その得た悟りをみんなにお説法をいたしました。その説法は、文字のなかった時代でしたので、口伝えで伝えられているうちにインドで文字ができ、書き留められました。そして、中国の人たちがシルクロードを越えてインドから経典を持ち帰って、中国の西安で漢字に訳され、朝鮮半島を経由して日本にやってきたものを今、私たちがお経として読んでいます。

お釈迦様の説法ですから、たくさんのお話が出てきます。今日は2つほど、紹介したいと思います。

◆速贄（はやにえ）

百舌鳥（もず）という鳥は、食料として捕らえた獲物を木の枝等に突き刺したり、木の枝股に挟む行為を行います。この時、百舌鳥は速贄した場所を把握するために空を見上げ、真上の雲を覚えるという。そして、お腹が減ったときに、空を見上げ覚えた雲のところに飛んでいくのですが、似たような雲の下には速贄したはずの獲物はない。

この話が何を例えているかと申しますれば、雲は流れますし、形を変えます、『移ろうものに頼ると大事なものを見失う、大変な人生を送りますよ』というものであります。

◆四人の妻を持つ男

とある国の王様のショッキングな例え話です。

まず第1夫人は、床の間に飾られているかのように常に寄り添って大事にされていました。第2夫人は、よその婦人でしたが、王様が見初めて連れてきたといういわくがありました。第1夫人に負けないくらいに大事にされていました。第3夫人は、いつもそばにいてくれた、嬉しいとき、悲しいとき、楽しいとき、いっしょに泣いたり笑ったりしてくれた奥様でした。第4夫人は、嫁いで来てから一言も会話をしたことがない夫人でしたが、掃除など身の回りの世話を献身的にしてくれました。

そのような4人の妻を持つ王様が年をとり、弱っていき、いよいよあの世に行こうかと時に、「一人であの世に行くのは寂しい」せつかく4人もいるのだから、誰か一人くらいあの世にいつてくれるだろうと思い、まず第1夫人に声をかけました。「俺もいよいよだ。俺と一緒にあの世へ行ってくれないか。」と。すると「いやです。一緒には行きません。」との答え。「あんなに大事にしたじゃないか。」と再度、王様が言いました。「大事にしたのは、あなたの都合でしょ。」と冷たく

第1夫人に断られました。

次に第2夫人にも、同じように聞きましたら「大事にしてくれたのは、あなたの勝手でしたことですよ、私は人の妻だったのをあなたの都合で連れてこられた。」と断られました。

第3夫人なら、と聞きましたところ「一緒に行つてあげたい」涙を流しながら「ですが、私は火葬場までしか行きません。」と。

最後に、第4夫人に初めて声をかけました「今まで、身の回りのことから何まで有り難う、しいては一緒に行つてくれないか。」と。すると、初めての声を聞きました「分かりました。一緒に行きましょう。」と。

この例え話、第1夫人は私たちの体を表しています。第2夫人は私たちの財産とか地位とか名誉であります。第3夫人は私たちの家族であります。第4夫人は私たちの見えないけれども自身の心。という話でありました。

ご静聴、有り難うございました。

妙満寺のブログ

妙満寺 宇佐

検索

<http://myoman.blog5.fc2.com/>

出席報告 出口幸太郎委員長

第2196回（3月8日）

会員総数	32名
（内出席免除）	0名
-----	-----
出席数	28名
（内事前MU）	0名
-----	-----
欠席数	4名
-----	-----
出席率	87.50%

回欠席者

住本憲彦会員、長浦善徳会員、米澤哲也会員
和田久継会員